

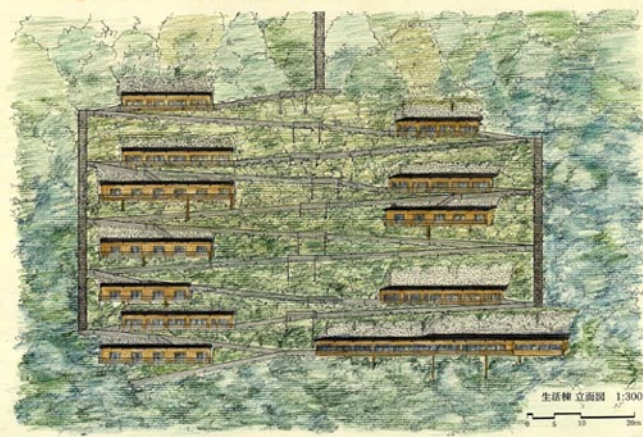
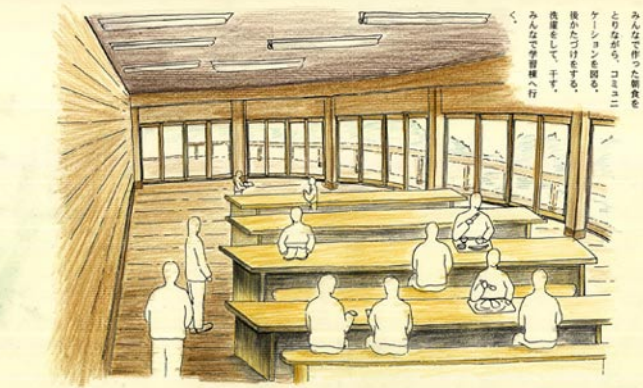
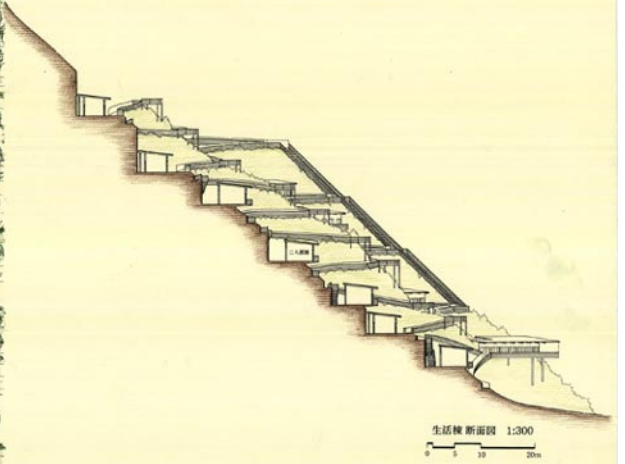
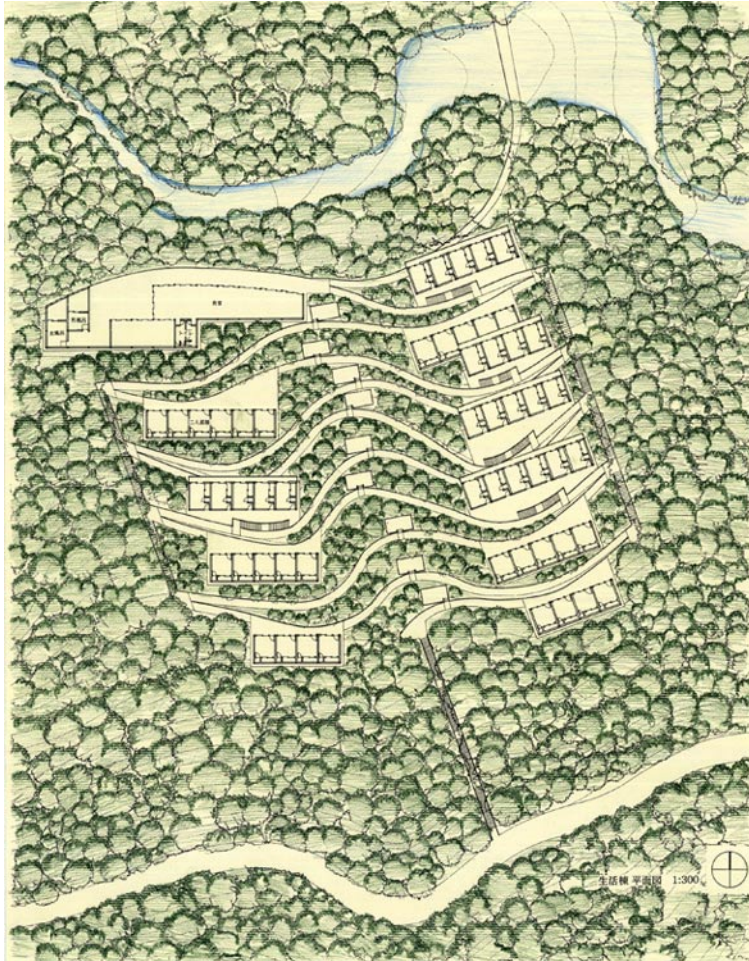
# たなだづくり



# 家—生活棟

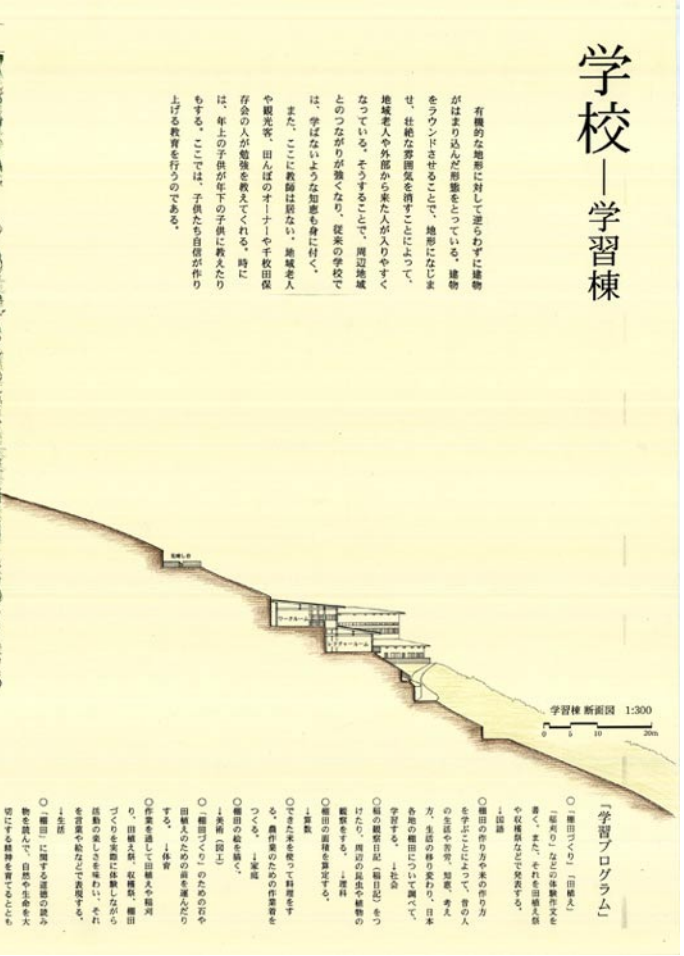
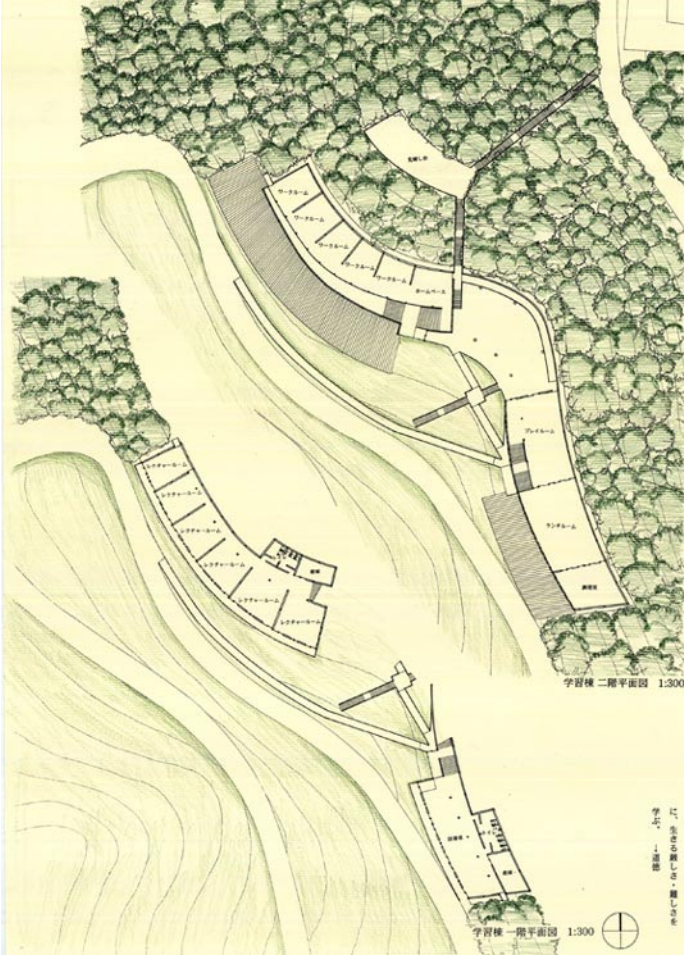
有機的な地形に対して、無機的な長方形の建物がはまり込んだ状態をとっている。このことは子供たちにとって秘密基地のような雰囲気を作り出し、大人に干渉されない場所を形成している。各部屋はすべて2人部屋になっており、24時間共同生活を営むことにより、人間関係の大切さを知ることができる。

また、ここは子供たちが生活するために最低限の機能しか入っており、生活するに必要と感ずる・楽しむを知り、お互いに助け合う精神を持つことができる。

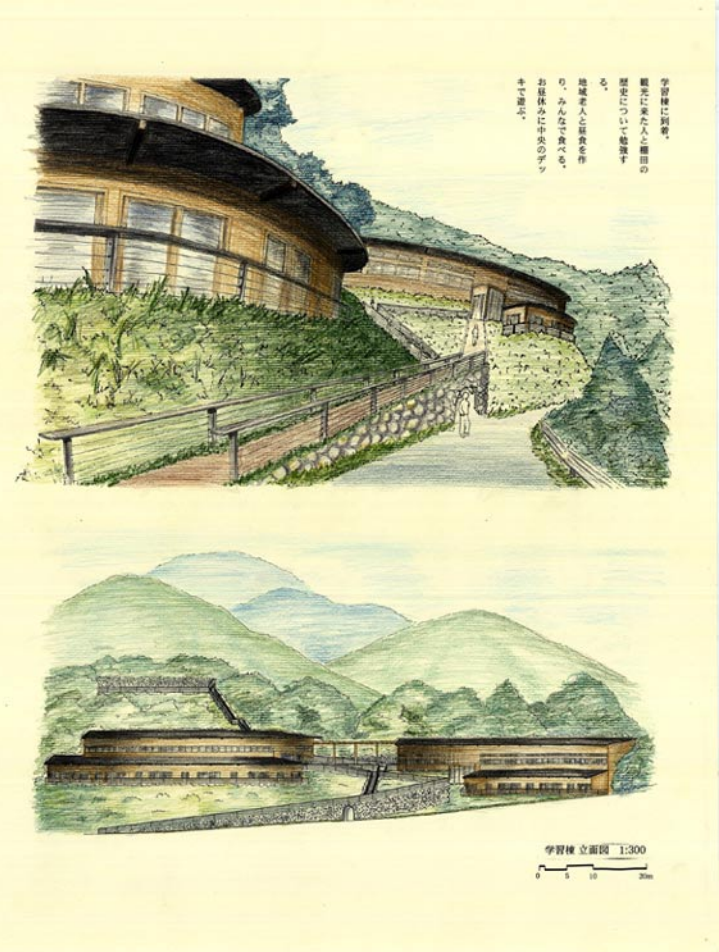


# 学校 — 学習棟

有機的な地形に対して造らわずに建物がはまり込んだ形跡をとっている。建物をラウンドさせて、地形になじませ、壮絶な空気を消すことにより、地域の人や外部から来た人が入りやすくなっている。そうすることで、周辺地域とのつながりが強くなり、従来の学校では、学ばないような知恵も身に付く。また、ここに教師は居ない。地域老人や観光客、田んぼのオーナーや家族田舎存命の人が勉強を教えこんでくれる。時には、年上の子供が年下の子供に教えたりもする。ここでは、子供たち自らが作り上げる教育を行うのである。



- ### 「学習プログラム」
- 田んぼづくりに参加する。田んぼづくりに参加した子どもたちは、地域老人と共同作業を体験し、自然と地域の文化や歴史について学ぶ。
  - 田んぼづくりに参加する。田んぼづくりに参加した子どもたちは、地域老人と共同作業を体験し、自然と地域の文化や歴史について学ぶ。
  - 田んぼづくりに参加する。田んぼづくりに参加した子どもたちは、地域老人と共同作業を体験し、自然と地域の文化や歴史について学ぶ。
  - 田んぼづくりに参加する。田んぼづくりに参加した子どもたちは、地域老人と共同作業を体験し、自然と地域の文化や歴史について学ぶ。
  - 田んぼづくりに参加する。田んぼづくりに参加した子どもたちは、地域老人と共同作業を体験し、自然と地域の文化や歴史について学ぶ。



# 社会—作業棟

ゆるやかな傾斜地に対して、それぞれの部屋が異なるレベルで建っているが、外部は段がなく一つにつながっている。子供たちが農作業をするための拠点であると共に、田圃開きや収穫祭などのイベント時に利用できる広場と野外劇場、調理場があり、社会とのつながりをもつ。農作業やイベントなどの共同作業を通じて、子供と大人がコミュニケーションを図り、知恵を学び、実際に体験することができる。

子供の時、見た記憶いたしたことは忘れてしまいが、実際の体験は忘れずに心に残り、後の財産となるであろう。

